

MUSIC CIRCUS'21 主催者・運営スタッフ向け
感染症対策マニュアル

2021年12月8日版

目次

マニュアル策定にあたって

<感染症対策の基本方針>

1. 一人ひとりの基本的感染対策 感染防止の3つの基本
2. 日常生活を営む上での基本的生活様式

<イベント実施前の対策について>

1. 延期の判断基準、プロセスの決定
2. 協力会社との共同準備
3. 来場者、出演者、スタッフへの入場条件の周知徹底
4. 来場者への感染予防意識の周知徹底

<イベント開催中(設営、撤去日含む)の対策について>

1. 入場ゲート
2. 会場内
3. 観覧エリア
4. 有料席エリア
5. 本部、楽屋等テント
6. 物販、販売ブース
7. トイレ、エコステーション
8. 退場口
9. 会場周辺

<マニュアル策定にあたって>

MUSIC CIRCUS実行委員会は、「MUSIC CIRCUS'21」の新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルを策定しました。開催にあたりましては、全参加者の安心・安全を図るべく、国の指針等に準じて感染防止対策に最大限対応する予定です。さらに、刻一刻と状況が変動する為、その都度対策を更新いたします。未曾有の状況とも言えるコロナ禍を打開する原動力となるよう、音楽で「感動」を届けられるイベントにしたいと考えています。

皆様一人一人の感染症予防への高い意識と行動をお願い致します。

<感染症対策の基本方針>

開催日の14日前から開催終了まで、以下の生活様式を徹底してください。

1、一人ひとりの基本的感染対策 感染防止の3つの基本

- ① 身体的距離の確保
 - ② 不織布マスクの着用（ウレタンマスクのみの着用は不可）
 - ③ 手洗い
 - ・ 人との間隔は、最低1m空ける
 - ・ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - ・ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - ・ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - ・ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

2、日常生活を営む上での基本的生活様式

- ① 密集回避
 - ② 密接回避
 - ③ 密閉回避
 - ④ 換気
 - ⑤ 咳エチケット
 - ⑥ 手洗い
- ・ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行。
 - ・ 毎朝の体温測定、健康チェックを行い、発熱などの症状がある場合は管理者に報告の上、無理せず自宅で療養。

<イベント実施前の対策>

1、延期の判断基準、プロセスの決定

- ・ 開催予定日1ヶ月前、1週間前に国の指針を踏まえて段階的に判断し、延期の場合は公式HP、SNSにて公開する。
- ・ チケットの払い戻しについて

ご購入いただいたチケットは、振替公演でご利用いただけるようにする。振替公演にご来場いただけない場合、振替公演を開催できない場合は払い戻し対応を行う。払い戻し方法は後日HPにてお知らせする。

2、協力会社との共同準備

全ての協力会社へ本マニュアルを事前に周知徹底。協力会社は、自社が関連する全スタッフに本マニュアルの周知徹底を図る。

3、来場者、出演者、スタッフへの入場条件の周知徹底

下記の条件を満たした方のみご入場いただけます。

①入場時に検温を実施します (37.5度以上の発熱の方はご入場いただけません)

②不織布マスクの着用をお願いします

4、来場者への感染予防意識の周知徹底

イベント来場前に基本的感染対策、来場判断基準を周知徹底

- ・ 咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指の消毒の徹底をHPやSNSで周知する
- ・ 来場判断基準についてHPやSNSで周知する
- ・ チケットはできる限り事前購入を促し、入場時の行列を減らす
- ・ チケット購入時にも、文書で基本的感染対策、来場判断基準を周知徹底

来場判断基準①

入場条件を満たしているかどうかに関わらず、下記の自覚症状がある方はご来場を控えていただく。

発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、息苦しさ、味覚の異常、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢、吐き気、嘔吐の症状

来場判断基準②

入場条件を満たしているかどうかに関わらず、下記の状況に該当する方はご来場を控えていただく。

- ・ 保健所等の健康観察下にある。
- ・ 来場前の14日間に発熱・体調不良の諸症状があった。
- ・ 来場前の14日間に、入管法に基づく「入国拒否対象地域」(以下参照)に海外渡航歴がある
- ・ https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page4_005130.html
- ・ 来場前の14日間に、身近に新型コロナウイルスに感染、もしくは疑いのある人がいる。

< イベント開催中 (設営、撤去日含む) の対策について >

1. 入場ゲート

① お客様、スタッフ入場時の対応

- ・ マスク着用、咳エチケット、手指の消毒、手洗い徹底についてアナウンスで周知する
- ・ 非接触型体温計等で検温
- ・ マスク着用確認：全参加者に対しマスク着用を義務付け、主催者は予備の使い捨てマスクを用意する
- ・ 会場出入り口に消毒液を設置し、参加者に使用を促す
- ・ 感染予防対策協力誓約書の登録を必須とし、来場者、主催者、協力会社等、全参加者の登録を確認する
- ・ 追跡アプリ登録を推奨する
- ・ チケットをもぎる際は、来場者が自分で半券を切って箱に入れ、スタッフが目視確認するなどの工夫をする
- ・ キャッシュレス決済を導入する
- ・ 現金や金券等の受け渡し時は、コイントレイを利用する
- ・ 待機列用スペースを広く設け、参加者が前の人と最小1mの間隔を空けて並べるようサインを表示する
- ・ 待機列整理スタッフを配置する (2名)
- ・ パンフレットは手渡しで配布せず、お客様自身で取ってもらうよう促す

②

- ・ 発熱者、体調不良者の対応
- ・ 会場の出入り口付近に発熱者、体調不良者用の再チェック用スペースを設ける
- ・ 37.5度以上の発熱者は速やかに再チェック用スペースに誘導し、再度検温を行なった後、37.5度以上が確認された場合はご帰宅いただくかPCR検査を受けていただく

- ・ 本公演終了後、参加者に感染者がいたことが発覚し保健所から主催者に対し、本公演に濃厚接触者ありとの通知があった場合は、健康状態に応じて医療専門家の相談を受けるよう参加者に連絡する。これを補強するため、追跡システムアプリ登録を推奨する。

2、会場内

- ・ 会場出入り口、各テント、トイレ、屋台に消毒液を設置し、参加者に使用を促す。
- ・ トイレ、ドアノブ、手すり、テーブル、椅子、蛇口、コイントレイなどの共用部を定期的に消毒する
- ・ トイレ、屋台前など、待機列が予想される場所には、待機列用スペースを広く設け、参加者が前の人と最小1mの感覚を空けて並べるようサインを表示する

3、観覧エリア/ステージ

- ・ 観覧エリアは来場客が最小1m間隔ソーシャルディスタンスを保てるよう柵を配置する。
- ・ 演目の転換時間にも、会場内の全参加者に対し、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指の消毒の徹底についてアナウンスする。
- ・ マイクの共有は最小限にとどめ、頻繁に消毒を行う。
- ・ スタッフは拡声器を活用し、大声での誘導、アナウンスは避ける。

4、有料席エリア

- ・ 回し飲み防止のため、食器は小さい使い捨てのものを利用する
- ・ 食事は一人分ずつもしくは個包装で提供し、不特定多数が触るトングを使用しない
- ・ 席周辺に巡回スタッフを配置し、マスク着用徹底についてアナウンスする
- ・ 接客スタッフはゴム手袋を着用する
- ・ 飲食用エリアの椅子はグループごとに間隔を開ける

5、本部楽屋等テント

- ・ 楽屋は最小限の人数で利用できるよう利用スケジュールを工夫する。
- ・ 運営スタッフは最低限の人数で行えるようジョブローテーションを工夫する。

6、物販、販売ブース

- ・ 不特定多数が触れるサンプル品を置かない
- ・ 待機列では参加者が前の人と最小1mの感覚を空けて並べるようサインを表示する
- ・ キャッシュレス決済を導入する
- ・ 現金や金券等の受け渡し時は、コイントレイを利用する

7、トイレ、エコステーション

- ・ トイレ、エコステーションはなるべく多く分散して設置する
- ・ こまめに清掃、消毒作業を行う
- ・ 清掃やゴミの廃棄の際は、マスク、手袋を着用し、作業後は手洗いを徹底する

8、退場口

- ・ 退場口は複数設け、エリアごとに退出時間を決めて誘導する
- ・ 集団を作らない、大声で会話しない、速やかに整然とおかえりいただくよう、場内アナウンス(放送やスタッフによる呼びかけ)を徹底する
- ・ 会場内、退場口に誘導員を配置し、密集を回避する

8、会場周辺

- ・ 密集を回避するため、例年より多く案内表示を掲示する
- ・ 会場周辺、最寄駅と会場間の歩道に誘導員を配置し密集を回避する